

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.183

2021. 1. 4

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。菅首相をはじめ、改憲をすすめようという動きは変わらず止まっていますが、政治が果たすべき課題はコロナ対策をはじめ山積しており、世論の多くは改憲など望んでいません。

新型コロナによって、私たちのくらしは大きく変えざるを得なくなっていました。これからますます寒くなり、コロナ収束も見通せない状況ですが、改憲を許さない声を挙げ、できることをできる範囲で続けていきしょう！



《新春メッセージ》 9条改憲反対の運動を緩めず進めましょう！

いわて女性・九条の会事務局長 伊藤慶子

10年前の東日本大震災に次いで新型コロナウイルスのパンデミック、人生で二度もこんな大災害に遭遇するとは…岩手もあっという間に300人を超え、日本も20万人、世界では8千万人に迫り、死者も多い。特に米では一日に30万人を超えた日もあり、欧州でも数万人が感染する勢いが止まらない。クリスマス・年末年始の「ロックダウン」、ワクチンの早めの接種等、挑戦が続いている。ドイツのメルケル首相は「来年はおじいさん・おばあさんに会えなくなります」と、今我慢しないと感染拡大が続くと感情のこもった力強い言葉で国民に訴えた。国の指導者のあるべき姿として話題になった。

日本の首相はどうか？隠したい物が多い安倍前首相の病気を理由にした計画的な辞任、政策を引き継ぐ菅義偉氏が首相になって3か月たった。戦争に突き進んだ反省をもとに作られた学術会議の新会員6人の任命拒否は、問答無用の強権政治の踏襲と国民の批判を浴びた。コロナ対策は無策と言われ、早すぎた「GOTO」政策に固執、感染拡大につながった。政策はぶれて混乱を招き、支持率は急激に落ちた。

私は、その菅氏と同郷である。団塊の世代（私の1歳下）のため、高校時代ぎゅうぎゅう詰めのスクールバスで2年間一緒だった。が、印象は薄い。ただ、お父さんとは縁があり、私の父親と町の議員仲間で友人だった。満鉄からの引揚者で先駆的に硬いイチゴ（ケーキ用）の栽培を始めたが、農協に受け入れられず、新たに「イチゴ組合」を作り成功、地域のリーダーで笑顔が印象的な好男子だった。父親の農業系大学への進学を勧めを振り切り、家出同然に上京した義偉氏。18年間の郷里生活の3倍の東京・横浜の経験が、今の小心で陰険に見える野心家の菅氏を作り上げたように見える。毎夜（朝も昼も？）の会食で批判されているが、経済界・マスコミ等大勢の人と会い、駆け引き・裏工作のスタイルが実像だと思う。

いわて女性・九条の会は、コロナ禍で15周年記念講演会を実施できなかったが、「二度と再び悲惨な戦争をしない国」を目指す政策を望んでいる。核兵器禁止条約の批准もせず、「国民投票法」を臨時国会に上程、通常国会に継続になった。9条をはじめ、憲法を改悪したい焦りが見える。運動を緩めてはいけない・・

パンデミックで世界的に矛盾があらわになった。人間の尊厳を中心にし、労働者と困窮している人々を救う資本主義の最構築が米大統領選挙でも言われ、社会主義批判を押しつけてバイデン氏が当選した。世界的なシステムの再構築が求められている今、新自由主義を標榜し、財界の顔色を窺い、自助を強調して自己責任を押し付け、平和国家を投げ捨てる菅政権では、国民は救われない。目先の利益誘導ではなく、コロナ禍で変わる世界を見据え、国民が安心して暮らせる「未来を創造できる政策」をと願うばかりだ。

古い体質の首相ではもたない。同郷だからこそ早くお引き取りを・・・とってしまう毎日である。

「9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」（12月末現在）

岩手の署名数 2万2千筆（全国では105万5千筆）

1月の署名活動 8日（金）12:15～12:45 盛岡市大通・野村證券前※荒天中止

「改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけます。ご都合のつく方は、ご参加ください！

この岩手の片隅に今、伝えたい『戦争』 —岩手県平和大会開催—

岩手県平和大会実行委員会（事務局・県平和委員会）が主催する第3回岩手県平和大会が、12月5日盛岡市ふれあいランド岩手で開催されました。当日は、オンラインも含め36人が参加しました。

毎年、県内各地、団体・個人の平和活動などを交流し、平和運動を活発にしようと「15分報告」を実施しています。今年は、岩手県原爆被害者団体協議会の伊藤宜夫会長の「ヒバクシャの願い」のほか、仙台での空襲体験や、戦時中のキリスト教への弾圧、反戦川柳作家のこと、そして青年を代表してフラワーデモの取り組みが報告されました。

参加者からは、「新しく知ったことが多く、大変勉強になった」「平和の取り組みは、今日のような地道な活動が続けることが大事と改めて感じました」などの感想を寄せられました。（春山一男）

告知

緊急署名岩手の会

“木村草太オンライン講演会”

平和憲法・9 条をいかに政治をさせよう

～憲法を守らない人たちに、改憲をさせては危ない理由(仮題)

2月27日(土) 13:30~15:30(開場13:00)

岩手県高校教育会館 大ホール参加無料・90人限定

◇参加希望の方は必ず事前にお申し込みを。講演内容は後日 DVD にして希望者に配布予定。



©岩沢蘭

＜事務局からのお知らせ＞

①街頭宣伝・署名行動等で活用ください！

「日本を戦争できる国にしないために」

—敵基地攻撃論への反論— リーフレット

全国市民アクション作成の、A5 判4ページのカラーリーフレットです。各9条の会に無料で差し上げますので、岩手県生協連までご連絡ください。

②「平和憲法・9条をまもる岩手の会交流会」は、

今年度は開催しません。代わりに、各地域の取り組みをまとめ、各9条の会にお送りする予定です。



ㄟㄣㄣ = 「周庭氏に実刑・黎智英氏拘留…香港は今」との報道！ -

とうとう12月かと思いながらの土曜日の夕方、ニュース報道に注目したら香港に関するものでありました。

「香港の西九竜裁判所は2日、昨年6月の違法集会を扇動した罪などに問われた民主活動家の黄之鋒氏(24)に禁固13月半、周庭氏(23)に同10月、林朗彦氏(26)に同7月の実刑判決を言い渡した。3人は同日改めて収監され、周氏は上訴に伴う保釈認められなかった」とのこと。画面は収監護送車が裁判所敷地を出るところで、若者たちに取り囲まれ、彼らは窓に金網を張った護送車の窓を叩きながら、「君たちを一人にしないよ!」と叫ぶ場面でありました。香港の人権、民主主義の行く末を暗示するものかなとコラム子は感じました。

報道のレポーターはキャスターから問われ「決して日本は例外で、こんなことにはならないと思ってよいのか」と答えておりました。コラム子はこれを聞いて「ハッ!」と思いました。

そうです。日本は安倍政権のもとで戦争法、秘密保護法、共謀罪法を成立。これは「戦争三法」と呼ばれるものであります。「日本は戦争できる国」になっているのです。この「三法」が成立したとき関係者の一人と思しき人物が小さな報道記事のなかで「戦前日本は1925年改正治安維持法を成立させ、以後25年間平和運動を完璧に抑え込んだ」と嘯いておりました。

この「戦争三法」で今日本国民は金冠を嵌められた「孫ご空」の如き状態にされているのではないのでしょうか。日本は香港と違って「人権、民主主義」が弾圧されることはないと思ってよいのでしょうか。(T)